

# 07

阪南大学和泉研究室と取組む文化財を活かした地域づくり ニュースレター

阪南大学国際観光学部 和泉ゼミと取り組む

## バス旅でめぐる！庄屋屋敷でのかまど体験と〇〇

日時：2019年7月9日（火）

10:00～12:00

場所：泉南市埋蔵文化財センター

参加人数：16名

### ■山田家住宅を起点とした体験プラン

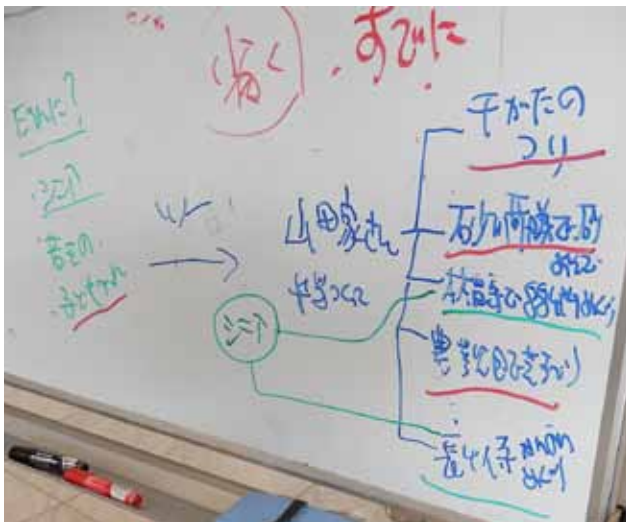
3つのチームごとに前回考えた目標をもとに、具体的なプラン作りにまとめるのがこの日のゴール。

これまで各チームごとに話し合ったのは、①バス旅、②花のスポットとそれをテーマにしたスイーツなどの開発、③泉南の歴史文化のファンになるような素敵な体験、といった一見ばらばらの目標。

これをガッチャンコし、全員で取り組めるひとつのプランに仕上げることができるのか？事務局担当は心配だったのですが、最初に意向確認をしたところ、皆さん大賛成！ガッチャンコすることを目標に話し合いを進めました。



コミュニティバスのルートを確認する「バス旅」チーム。この日のために、バス停の位置も正確に把握できる地図をつくりました。



せんなんの歴史・文化のファンになってもらえる体験をあれこれ思案。いざ考えてみるとなかなかアイデアが出てきません。

### せっかくだからガッチャンコ

きょうまでの話し合いでたどり着いたのが、3つのチームと、①バス旅、②花のスポットとそれをテーマにしたスイーツなどの開発、③泉南の歴史文化のファンになるような素敵な体験といった目標。バラバラなまま話し合うのがもったいないので、これまでの経緯を確認・共有したうえで、ばらばらで進めるか？それともガッチャンコして話し合いを進めるかを皆さんに選んでいただくことに。皆さんの答えは「ガッチャンコ」。この日の話し合いはここからはじまりました。まずは体験を決めて、それから花とバス旅

各チームの目標を文章で表現すると…「街道沿いの歴史・文化のファンになってほしいから、その魅力をじっくり味わえる体験と、年間をとおして何度も訪れたいくなるひみつのお花スポットを、ユーモラスなバス停を目印にめぐるバス旅」といったところ。

まず決めるべきは、どんな体験をするか？なので皆さんの思いつくままにアイデアを書き出してみました。①干潟で釣り②山田家のかまどでおにぎりづくり（お弁当③長慶寺の観音めぐり④林昌寺の八十八か所めぐり⑤岡田浦の地引網とBBQ⑥砂川奇勝で砂遊び⑦農業公園で芝すべり⑧男神社他でホテル⑨海ほたるといったところ。

すんなり決まったのは「山田家さんでのかまど体験」そこからアイデアを膨らませ「ここでおにぎりを作ってお弁当にしたらいいのでは？」ということに。企画の芯になるのが「山田家さんでのかまど体験とおにぎり弁当作り」で、お弁当を持っていく行先を考えることに。

先ほど出た他のアイデアからどれをするか？決めるためのルールを話し合ったところ、「商いでやっているもの」と「すでに実施しているもの」は外して、残ったものを「遠方の友だちを招待するのならどれか？」と各自で考えてもらいながら、「林昌寺八十八か所め

## バス旅で巡る！庄屋屋敷でのかまど体験と海辺の干潟あそび（子ども連れ向けバス旅）



## バス旅で巡る！庄屋屋敷でのかまど体験と林昌寺八十八か所めぐり（シニア向けバス旅）



### 企画の概要

街道沿いの景観や歴史と文化のファンになってほしいから、せんなんのひと暮らしを時間をかけて味わえる体験。誰もがせんなんの雰囲気を楽しんでほしいから、ユーモラスなバス停をめぐるコミュニティバスをつかったバス旅。年間をととして何度も泉南市を訪れてほしいから、ヒミツのお花スポットを案内。

- \*利用するバス停は地域住民と協働し「アートなバス停づくり」を開催。バス旅のアイコン作りをおこなうことで旅行者をもてなす機運醸成が目標。
- \*実施時期はいずれも5月（つつじ及びハマヒルガオの咲く時期）とし、JR 新家駅・和泉砂川駅にはつつじの鉢植えを設置。
- \*「花のスタンプ帳」を作成。金熊寺の梅から海会寺の古代ハスまでスタンプを設置。スタンプ帳は JR 新家駅及び和泉砂川駅で配布。

ぐり」（シニア向け）と、「海辺の干潟あそび」（子供連れ向け）の二つのプランに決め込みました。

### バス旅で巡る！庄屋屋敷でのかまど体験と林昌寺八十八か所めぐり

シニア向けのプランで、まずは山田家がかまど体験とお弁当作り。そこからバスに乗って和泉砂川駅へ。街並みを眺めながら徒歩で林昌寺へ。重森三玲作庭の庭に咲くつつじの時期に合わせて実施するプランです。ここではスイーツではなく、岡中地区の名産タケノコとはちみつを併せて販売。

### バス旅で巡る！庄屋屋敷でのかまど体験と海辺の干潟あそび

子ども連れ向けのプランで、まずは山田家がかま

ど体験とお弁当作り。そこからバスに乗って樽井駅へ向かいます。樽井の味わいある街並みを散策しながら海沿いの干潟へ。5月に咲くハマヒルガオを見たり干潟で遊んだあとは「男里川」バス停から、夕陽を背にしながら和泉砂川へ向かうプラン。子ども連れなので、ハマヒルガオを活かしたソフトクリームか和菓子を作りたいと話が膨らみました。今日の成果をもって阪南大学へ！

これからの進め方も確認しました。今日まで話合った内容を阪南大学和泉ゼミに提示して協働を提案。大学生と一緒に考えながら来年5月の実施に向けて「できるかたち」を決め込みます。

### 【今後の進め方！】

今回のアイデアを阪南大学いずみゼミに連携を持ち掛けます。詳しくは9月以降にお知らせする予定です。

この取り組みに 参加してみたい方大歓迎です！  
問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで  
TEL:072-483-6789  
メールアドレス：maibun@city.sennan.lg.jp